



◀この一般質問の映像は
こちらから

■総合的な森林整備について



室井 高男

質問

総合的な森林整備の実施は

町 森林整備計画に基づき実施

問 森林整備計画の策定と実施状況は。

答 (農林振興課長) 民有林は那須町森林整備計画に基づき、森林組合からの整備計画の認定を行い、順次伐採や造林作業を行っている。

問 町有林の伐採計画は。

答 (総務課長) 森林資源の安定的な管理活用を念頭に、伐採計画を今後もしていく。



良質な八溝材の生産作業

問 森林環境譲与税の計画実行や予算の執行状況は。

答 (農林振興課長) 広葉樹林の集積計画や伐採植え付け、木工教室や森林環境学習支援など普及啓発に510万円の執行を見込む。残額の使途は、主に森林整備になるが、公共施設の木質利用促進、八溝材PRを進め都市部と連携を図るなど、町独自の事業を提案していきたい。

問 木質バイオマス事業を進めて入れて里山林整備を進めては。

答 (農林振興課長) 里山林整備を進めるため効果的であり、連携できる民間企業体があれば、今後検討していきたい。

※木質バイオマス…生産資源(バイオ)の量(マスを表す言葉であり、再生可能な生物由来の有機性資源のこと。その中の木材からなるもので環境面で優れている。

■町有財産の利活用について

質問

町有財産の活用は

町 地域の意見を踏まえ検討していく

問 優先的課題である学校跡地の活用は。

答 (総務課長) 地域の意見を踏まえ、公有財産活用検討委員会などにおいて利活用を検討する。

問 旧立正校成会跡地の建物は壊すのか、直すのか。

答 (企画財政課長) 黒田原まちづくり協議会の意向で、最低限の補修をしながら保存するという方向性を持っている。

問 黒田原まちづくりセンターは十分活用しているのか。

答 (観光商工課長) 夏祭りなど、地域の触れ合いの場や会議場として、黒田原地区活性化のために活用している。

問 町長公約の矢ノ目ダム周辺町有財産の有効活用は。

答 (町長) 森林を生かした空間整備を目指したい。地域振興の活力資源とし、民間活力も取り入れた施策を展開したい。

問 吉田地区、共同一般廃棄物最終処分場用地の、町有地の利活用に関する契約状況は。

答 (総務課長) 那須地区広域行政事務組合との使用同意を結んでおり、今後土地の使用賃貸契約のための協議を進める。



整備が進む
共同一般廃棄物最終処分場